

美術館を
考える
プロジェクト

美術館を考え続けるプロジェクト#02
ミュージアム・サロン xiv

2022.03.05 [土] 7-9pm

Gallery Cafe ふく [若桜町若桜396]

参加費 | ワンドリンク制 定員 | 20名 (先着順)

ひやまちさと

(イラストレーター / Gallery Cafe ふく 主宰)

×

赤井 あずみ

(鳥取県立博物館 / 美術館整備局 主任学芸員)

昭和47年の開館以来、鳥取県立博物館は地域の歴史文化の継承・発展の拠点として、またその普及を通じた社会教育施設として活動を続けてきました。現在整備を進めている県立美術館は、博物館の遺産を受け継ぎつつ、より充実した環境で活動を展開させることで、人口減少時代の鳥取県の地域再生拠点として、その未来の姿を描こうとしています。開館準備の期間中、そのビジョンを多くの県民の方々と共有し、意見交換を重ねながら、新しい美術館をかたちづくって行くためのひとつの試みとして、「ミュージアム・サロン」を開催します。このトークイベントでは、県内各地で活動されている方々をゲストにお迎えし、地域における文化活動やそのあり方、そして未来の美術館について考え、語り合います。今回のゲストは、イラストレータ/デザイナーとして活躍される傍ら、鳥取市若桜町の駅前にカフェギャラリーを開設し、生活や文化にまつわる活動に取り組んでいるひやまちさとさんです。

ひやまさんのこれまでのご活動についてお伺いしながら、鳥取の文化状況の未来について、また新しくできる美術館像や活動への提言など、参加者の方々も交えて意見交換する機会とします。ぜひお気軽にお集まりください。

ゲスト・プロフィール | ひやま ちさと

鳥取市鹿野町で育つ。鳥取湖陵高校卒業後、京都でデザインを、神戸でイラストレーションを学ぶ。イラストレーションを用いたグラフィックデザイナーとして活動する傍ら、2019年には鳥取県若桜町にギャラリーカフェふくをオープン。また、県内各地でのアートプロジェクトの企画運営にも取り組んでいる。

